

第2回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成20年11月6日（木）午後7時00分～午後9時20分

場 所：市役所3階 第2会議室

出席委員：8名

欠席委員：1名

傍 聴：2名

事務局：3名

会議資料：①市民討議会の準備について

②実行委員会の日程について

③国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う市民討議会実行委員会委員名簿

④国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う市民討議会実行委員会スケジュール（案）

1. 開会挨拶（小林委員長）

- ・お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。
- ・本日の議題は大きく分けて3つあります。まず、副委員長の選出、次に市民討議会の準備について、その他ということで準備しておりますのでよろしくお願ひします。

2. 第1回実行委員会議事録の確認

- ・事前に送付した第1回実行委員会議事録について、昨日までに事務局へ追加や修正等の意見がなかったため、改めて意見を伺ったところ特に意見もなく、送付されたとおりで了解された。
- ・委員長から公表する時期についての確認があり、事務局から速やかに市のホームページに掲載することを回答した。
- ・配布資料の確認（事務局）

3. 副委員長の選出について

- ・副委員長の選出は、公募市民委員の中から選出することとなっていたため、市民委員から、11月4日に4名の公募市民委員が市役所に集まり相談した結果、家坂委員が副委員長を引き受けることになったとの報告があった。

4. 市民討議会の準備について

(1) 名称について

名称は、各委員で1案以上の名称案を持ち寄ることとなっていたため、各委員から次のような名称案の提案があった。

- ・南の風市民討議会
- ・まちかど会議
- ・みんなで話そう市民討議会
- ・国立南市民懇談会
- ・くにたちトーキング
- ・ふるさとまちづくりトーク
- ・わいわいディスカッション
- ・まちかどトーク
- ・声を届けよう市民討議会
- ・みんなのミーティング市民討議会
- ・くにたち市民討議会
- ・国立ふるさとまちづくり市民討議会
- ・well voice国立市民討議会
- ・くにたちまちづくり市民の声

【主なご意見】

- ・「市民討議会」という言葉をどう入れるか、例えば「まちかどトーク～国立市民討議会」のように入れると良いと思う。
- ・「well voice」は前回も意見が出ていたが、お年寄りにはなじみがないと思う。
- ・「国立」は、市報でも平仮名になっていることや「コクリツ」と間違えられないためにも、平仮名で「くにたち」と表記するほうが良いと思う。
- ・前半部分に愛称的な言葉を入れ、後半に「市民討議会」をつけると良いと思う。
- ・市民討議会という手法を周知する目的もあるので、名称に「市民討議会」と入っていると良い。
- ・南部地域のことを話し合うということから、「南」という言葉が入ったほうが良い。
- ・「南」を含めると、今後、他の分野で引き続き市民討議会を開催していくときに名称的な不具合が出てしまうのではないか。
- ・今後、引き続き市民討議会を開催していく予定がないのであれば、南部ということを入れるほうがわかりやすいと思う。他市の事例では、企画部等で取り組む場合にはもう少し一般的な名称になっている。
- 今回、南部地域の基本計画づくりに生かすため、担当課として市民討議会の取り組むことになった段階であり、企画部署のほうでの取り組みは今後の検討になると考えられる。
- ・市民討議会の今後の実施が未定であれば、今回は「南」という言葉を入れて良いのではないか。
- ・「まちづくり」という言葉も大切なので入れるのが良いのではないか、後ろにトークやディスカッションなどをつけると語感が良いと思う。
- ・「声」や「届ける」という言葉は響きが良い。
- ・ストレートすぎるかもしれないが、わかりやすく、「話し合おう語り合おう南のまちづくり」はどうだろうか。

- ・愛称部分は短い言葉のほうがインパクトがあって良いのではないか。
- ・名称が長いと略されてしまうことが多い、三鷹では「まちディスプレイ」と話されていた。

【集約】

- ・名称は「南の風トーク～くにたち市民討議会～」に決定した。

(2) 開催日時等の決定について

【主なご意見】

- ・準備時間を確保するためと年末年始を避けた方が準備に立川青年会議所の協力を得易いと考えられるという2点から、候補日は2月21日と22日が良いのではないか。また会場は、討議対象地内の南市民プラザがふさわしいと思う。
- ・2月20日から22日までの間、昭和記念公園で、たましん主催の「多摩地域交流展」が開催される。隣接市のことではあるが、2、3万人が来場するイベントで、国立の企業の出店や高齢者の参加もあるので、候補日の決定に考慮した方が良いと思う。
- ・2月7日と8日であると準備が大変で月末は避けた方が良いということがあるので、前回から候補日となっていた2月21日と22日が良いと思う。

【集約】

- ・2月21日（土）と22日（日）に南市民プラザで実施することで決定した。
- ・時間については、討議内容を今後検討する中で決定していくことで了解された。

(3) 予算について

- ・事務局から資料に基づき説明し、参加者への追加配布物については、現在検討中であることを補足した。

【主なご意見】

- ・無作為抽出の費用はどこに計上されているか？
→庁内の電算部署で抽出するため、費用計上はしていない。
- ・郵送料は1,000通の発送費用としては少ないように思えるがどうか？
→予算計上時点では、小さい封筒での発送を考えていたため、他市のように他の郵便物より目立つ配慮から大きい封筒を使うかどうかや重さに関係する同封資料などについては今後実行委員会のご意見を受けながら対応したいと考えている。
- ・市負担分については行政の予算となるが、科目間流用は可能なのか？
→一定の基準はあるが工夫は可能と考えている。
- ・情報提供者の予算の計算根拠がおかしいのではないか。一つのコマ（テーマ）ごとに視点の違う2名程度の方を情報提供者としてお招きするとして、前回6コマ程度設けるということになっていたのが最大12名になる。情報提供者はずっと参加してもらおうのではなくコマの冒頭に20～30分程度お話いただくのみなので、説明

の計算根拠では過剰に計算しているのではないかと思われる。他市の事例では、有識者であっても5千円というボランティア程度の謝礼でお願いしている事例や3万円の事例もあるが、多くは1万円程度としているようで、総額で20万円程度だと思う。市民討議会という試みなので、交通費程度で来てくださる有識者もいる。このようにして節約した費用は、郵送代のほか、追加の無作為抽出と発送費用や、参加承諾をしてくれた方が確実に当日参加していただくための実行委員会からの準備状況のお知らせなどの費用にまわすと良いのではないか。

- ・追加配布物はあればあるにこしたことはないが、講師謝礼や諸謝費も含めてその金額や配布物が前例になってしまうので、無いなら無いで無理に用意しなくても良いと思う。
- ・封筒は既存のものは使えないのか？
→市民討議会の名称などを封筒外面に印刷することもあり、新たに発注する予定である。封筒案などは次回の実行委員会にご提示したいと考えている。前年度に見込みとして予算を検討しているため、予算の範囲でやりくりし、なるべく費用を抑えるような工夫はしていきたいと考える。
- ・事業費の中で、ある程度のやりくりができるということで良いか？
→予算の枠として確保しているということで現段階ではご理解願いたい。最終的な実績は実行委員会に報告する事項であると考えている。

【集約】

- ・予算については、現段階では資料のとおりで認識しておくことで確認された。

(4) 周知の方法等について

【主なご意見】

- ・市民討議会は2月21日と22日の開催と決まったので、市報2月5日号、2月20日号へも掲載可能か？また、市報の掲載回数の制限はあるのか？
→市報の掲載回数の制限はなく、資料には表記していないが2月5日号、2月20日号にも掲載して行きたいと考えている。
- ・ポスターやチラシは、資料にある公共施設のほか、福祉会館や防災センター、大学等へも置くと良いと思う。
→各福祉館、図書館等の関係各所へも掲示および陳列を依頼したい。
- ・プレスリリースはどのようなものと考えているか？
→実行委員会のご意見にもよるが、現在は、市から記事を書いてもらえるように情報発信するという通常の方法を考えている。他市では記者会見をしている事例もある。
- ・市報やチラシでは、「傍聴できます」ではなく、「傍聴者は発言できません」と大きめに表記にしたほうが良いと思う。公開と書いてあれば傍聴可能なことは伝わる。

他市で当日の傍聴者が発言できないことに驚かれた経験がある。

- ・市報原稿案について、いくつか修正案を提案するので、事務局で検討してほしい。
 - ① 「ご意見をいただく場」は「まちづくりへの参加の場」の方が好ましい。
 - ② 「小グループにわかれて話し合う」という内容よりも「約50名の市民が集まる、ただし多数の場合は抽選による」という部分を入れた方がよい。
 - ③ 実行委員会の正式名称が長いため、「市民討議会実行委員会」程度に省略したほうがよい。
 - ④ 「情報をお持ちでない方もご参加できます」の部分は「どなたでもご参加できます」という内容の方が好ましい。
 - ⑤ 他市の事例では「私なんか参加して良いのですか？」という問い合わせが多いので、「あなたに参加してもらいたい」と伝えるような文章を入れられれば好ましい。

→原稿は実行委員の皆さんの確認をいただいて決定としたいため、メール等で確認を求めることとする。

- ・ポスターやチラシは、誰にもわかるよう、南部地域の場所や位置などを入れておく必要がある。

【集約】

- ・市報12月5日号の原稿案は、修正案をメール等で委員に送付し確認いただくことで確認された。
- ・ポスターやチラシは、次回実行委員会に事務局から具体的な提案をすることとなった。なお、記載事項や強調しておくべきことなどの提案は、前もって事務局へ連絡することで確認された。

(5) テーマの選定について

【主なご意見】

- ・前回は2日間で6コマ(テーマ)程度設けるということが確認されたが、本来の流れとしては、南部地域にどのような課題があるのか、長年問題が解決されていないのは何故かといった分析を深めてから市民討議会で話し合ってもらいたいテーマやコマ数を決めるべきだと考える。住民の方がどんな思いで住んでいるかなどを実行委員会としても把握して課題を考え、市民に話し合ってもらいたいことをテーマ設定するようだと思う。
- ・事務局として、市民討議会という手法で市民に話し合ってもらいたい事項というのは、どんなことなのか?
→事務局として市民に話し合ってもらいたいことの内容は資料の内容であり、検討したいと考えている。ご指摘の、南部地域の課題や住民の方の意見など実行委員会の皆さんに理解を深めていただけるよう、先にお送りした資料をさらにま

とめるなどしてポイントを明確にした資料を次回説明することも可能と考える。

- 地区説明会の記録を読んだが、問題がたくさんあることがわかった。住民は市に対しての不満がたまっているようだ。そういった状況で事情を知らない市民が話をするのは難しい。例えば「自然を残すにはどうしたら良いか」のようにポイントを絞って話し合いをしないと大きな問題となってしまう。市民討議会で話し合っても、具体的にやってくれるのか、というようなことになりかねず、話し合っていく中で具体的な将来イメージが見えるような話し合いができるようなことをテーマにする必要がある。
- 市民討議会は市内全域から参加があるので、利害から離れた見地から討議することが大事だと思う。同時に、今後の基本計画の中に市民意見が反映されやすいような形となるテーマ設定でもあることが求められる。今挙がっているテーマ案は少し漠然としているように感じるので、絞って聞くのが良いと思う。特定の意見が集中しないようなテーマにする必要もある。
- どの地区でも、道路、区画整理、自然の保全などが話されていることから、これらの問題が地元の大きな関心事なのだと思う。これらの点に意見が出やすいような設問とするのが良さそうで、「魅力は？」「課題は？」というのは設定が大きいように感じる。
 - 南部地域は市の半分を占めるので、市民討議会では南部地域を市全体の課題としてとらえ話し合っていたきたいと考えている。地元住民にとっては細かな関心事はあるが、それらのことは今後実施していく「(仮称)市民検討会」で扱っていくため、市民討議会では市全体の見地からの意見を求めたいと考えている。
- 南部地域開発に関する市長や行政の方針やビジョンというものはあるのか？具体的な計画はあるのか？
 - 行政の方針としては、基本構想及び基本計画として示されている。南部地域については基盤整備が大きな課題となっているが、今見直そうとしている計画は、都市計画マスタープランがない時代から、南部地域の基本的な方向を示すものとされてきた。これらの考え方や地区説明会の様子などを、改めてまとめて実行委員の皆さんに次回お示ししたい。
- 地区説明会の記録を読んで、住民間で矛盾している要望が多いと感じた。道路インフラ整備の要望がある一方、居住環境の整備を求めている。また、農地保護や自然保全と、道路インフラの整備とは微妙に対立する。また、清化園跡地の整備は産業振興の意味合いがあるが、自然保護とは対立する部分もある。これらのように、住民意見に矛盾があることを市民の皆さんはどう考えるかといったことを市民の皆さんにわかっていただく良い機会になると思う。大きく分けると、居住環境整備、道路インフラ、自然保護、産業振興の4点になるが、どれもお金がかかることなので、25年間解決せずにきたのではないかと考える。これらの問題を2日間の市民討議

会では時間がなく話しきれないので、例えば道路整備と快適な居住環境整備といった対立軸を挙げて、これらの矛盾を解決するにはどうしたらよいかということをお話するようにプログラムを作って行ってはどうか。そのような作り方をすると、大きな成果も得られ、参加市民に「まちづくりは矛盾した対立軸を話し合いによって解決する」ことがわかってもらえるのではないかと思う。

- ・お金をかけなくても南部の魅力を市民が発信するということを市民参加で実施して行くといったような話もできれば良いと思う。お金をかけずにできることもあるという発想も大事だと思う。

【集約】

- ・テーマについては、引き続き検討することで確認された。

(6) 情報提供者について

- ・テーマと多分に関連するのでテーマ決定後に具体的に審議いただくこととして、事務局からの資料説明で留めた。

集約の確認

- (1) 名称は、「南の風トーク～くにたち市民討議会～」に決定した。
- (2) 開催日は、2月21日(土)と22日(日)に決定した。
- (3) 予算は、現段階として資料のとおり認識しておくことで確認された。
- (4) テーマは、引き続き検討することとなった。
- (5) 市報12月5日号の原稿は、事務局からの修正案を確認することになった。
ポスターやチラシについての提案があれば事務局へ連絡することとなった。
- (6) 情報提供者は、テーマが決まってから検討することとなった。

5. その他

- ①第3回実行委員会は11月19日(水)19時から開催することで確認された。
- ②11月1日付で市役所の組織改正が行われ、建設部まちづくり推進課区画整理係から都市振興部地域整備課区画整理係と変更になったことを説明した。

以上